

# 火災から生命・財産を守れ

## 年末年始消防特別警戒に伴う広報隊出発式

# 津消防タイムズ

第46号

発行 津市消防本部  
〒514-1101  
津市久居明神町 2276

編集 消防総務課  
企画調整室  
TEL 059-254-0353  
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの  
お問い合わせ  
☎224-1881  
救急医療情報案内  
☎256-1199

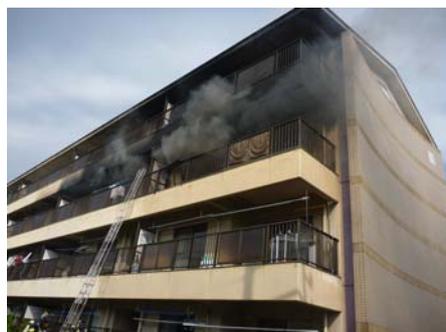


↑年末年始の火災予防啓発活動に出発する広報車



↑十月二十七日、久居中町地区で発生した建物火災

**○年末年始消防特別警戒**  
十二月十四日、消防本部で年末年始消防特別警戒に先駆けて広報隊の出発式を行いました。これは、市民生活が繁忙になる年末年始にかけて、火災を未然に防止するため市民に防火啓発を強くアピールするもので、消防職員三十人、広報車十四台が集結しました。  
今年、一月一日に美杉地内の住宅火災で死者が出るなど、これまでに住宅火災により六人もの尊い命が失われています。(十二月十四日現在)  
こうした現状を踏まえ、広報隊は、住宅用火災警報器の設置



↑十月十五日、戸木町地内で発生した火災

促進や広報誌による注意喚起を展開するほか、広報車による広報啓発活動や警戒巡視活動を行います。  
出発式で、中西秀輝消防長は、「住宅火災による死者ゼロを目指して組織の総力を挙げて取り組みたい。各消防署のみなさんには市民の安全・安心の確保にベストを尽くしていただきたい。」と訓示しました。(高橋直通)

○全国消防音楽隊フェスティバルに参加

十月十日、津市消防音楽隊は奈良県奈良市で開催された「第六回全国消防音楽隊フェスティバル」に参加しました。

これは「平城遷都千三百年祭」の記念事業に合わせて開催されたもので、全国から二十一隊の消防音楽隊が奈良市に集結しました。

当日は天候にも恵まれ、多くの観光客で賑わう中、午前中は、平城宮跡まほろばステージでコンサート演奏を、午後からは、JR奈良駅から興福寺までの三条通りでパレードをそれぞれ披露し、演奏会を大いに盛り上げました。(笹村晶紀)



↑コンサート演奏を行う音楽隊



↑パレードを行う音楽隊

○三重県消防学校初任科生が訓練成果を披露

九月二十五日、三重県消防学校で初任科総合査閲訓練が実施されました。今年四月に消防職員として採用された三重県内の消防士八十三人が、半年間かけて習得した火災や救助の知識・技術を地域の方々や家族等に披露しました。

若き消防士の実践的な訓練に、息子の雄姿を見に訪れた父兄からはハンカチを手にとるシーンも見られました。

最後は自分たちで作った「支えてくれた 皆に感謝!」という横

断幕を掲げ訓練を終了しました。彼らは十二月二日に消防学校を卒業し、それぞれの消防機関の第一戦現場に配属されます。現在の「志」を忘れずに地域の安全と安心のため活躍することが期待されます。(横山博)



↑父兄たちが見守る中、救助技術を披露する初任科生

○幼稚園児が防火パレード

十一月十一日、市立高岡幼稚園(二志町高野)の園児が、秋の火災予防運動に併せて、防火パレードを実施しました。

同幼稚園からとことめの里一志までの約二キロメートルの道のりを、お揃いの法被を着た園児達が、大きな声で拍子木に合わせて



↑元気よく火の用心を呼びかける幼稚園児



て「火の用心」と呼びかけました。また、とことめの里一志では、園児たちの元気な演技も披露され、観覧していた人たちから温かい拍手が送られていました。(東悟史)

### ○消防技能指導官を指定

十一月一日、久居消防署黒川喜信南分署長、同署中田隆一指揮隊長、白山消防署池山弘消防担当副主幹の三人に、消防技能指導官として中西秀輝消防長から指定書が交付されました。

技能指導官制度とは、団塊の世代が大量退職を迎えるにあたり、消防実務に関する専門的技術や知識を有する職員が、若手職員に将来にわたり確実にその技能を継承し、消防力の一層の高度化、専門化を図ることを目的に、県内の消防機関として初めて津市消防が今年度から導入した制度です。

三重県防災航空隊の初代副隊長や水難救助隊長を勤めた黒川分署長は陸・海・空の救助技術の高さが、中田指揮隊長は広報誌やパンフレットなどの作成に係る高い消防広報技能が、池山



↑ 指定書を受け取る中田指揮隊長

担当副主幹は音楽隊の創設に尽力し、その音楽技術に係る指導力がそれぞれ認められ、消防技能官としてそれぞれ指定されました。

指定書を受け取った中田指揮隊長は「広報業務で培った知識、技術を一人でも多くの職員に伝授したい。」と述べていました。（高橋直通）

### ○新消防団キャップの貸与式

十月二十五日、消防本部において津市消防団新アポロキャップの貸与式が行われました。

本年四月から市内各地域の十消防団は、津市消防団として一つに改編されことを受け、アポロキャップを一新して統一しました。形はベースボールキャップのようにやさしく丸みをおびており、「TSU」という文字を大きく強調しています。

この新アポロキャップには「絆」「希望」という思いが込められているほかに、消防団の活性化や憧れる消防団というイメージづくりなども期待されています。

新しい思いが込められた帽子

に地域の安全と安心のために、より一層の活躍が期待されます。（横山博）



↑ 新消防団アポロキャップの貸与式の様子

### ○総務大臣表彰を受賞

総務省消防庁は、九月九日の「救急の日」に、スクワール麹町（東京都千代田区）で、平成二十二年度救急功労者表彰を行い、特定医療法人同心会遠山病院（南新町）が総務大臣表彰を受賞しました。

当病院は、救急搬送患者を受け入れる二次救急の基盤となる救急医療体制の構築と地域の救急医療の推進に貢献された功績が認められたものです。

今回表彰された遠山病院の竹

内敏明院長は、「このような表彰を受け光栄です。今後も地域医療の担い手として、微力ながら貢献したいと思えます。」と述べられました。（羽田充洋）



↑ 総務大臣表彰を受賞した竹内院長

### ○防災の意識を高めて

十月十七日、市立雲出小学校（雲出本郷町）において、三重県交通安全協会が主催で第五回雲出地区総合フェアが開催されました。これは、「防災・交通安全意識の高揚を図り、併せて地域住民の交流とふれあいと親睦」を目的として、平成十八年から毎年開催されています。

フェアに参加した久居消防署南分署は、煙体験、応急手当、消防車両の展示コーナーを開設し、晴天にも恵まれ多数の地区民の方々と触れ合いました。参加した職員は、「大震災はいつ起きるか分かりません。家具の固定や非常持ち出し袋を備え、防災意識を高めてください。」と訴えました。(飯田仁)



→煙体験を行う参加者



←心肺蘇生法を体験する参加者

**○秋の火災予防運動に伴い 介護施設で訓練を実施**

十一月十日、秋の火災予防運動の一環として、介護施設かざはや苑(戸木町)で火災を想定した防火訓練が行われました。

訓練は、施設利用者二百十八人、施設職員三十人、戸木自治会四人、久居消防署から十一人が参加し、通報、避難誘導や初



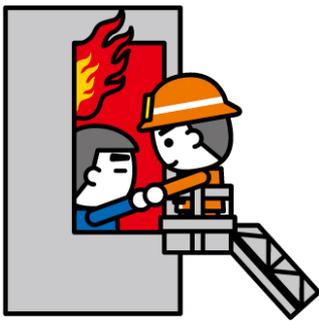
→トリアージを行う救急隊員



←建物上層部の逃げ遅れを救助に向かうはしご車

期消火訓練、災害時によるトリアージ訓練及びはしご車による救出訓練などを行いました。

訓練終了後、久居消防署の上杉初男副署長は、「寒さが厳しくなり、火を使う機会が増えます。火の取扱いには十分注意してください。」と講評すると、施設職員からは、「絶対火事は起こしません。」とこたえていました。(横田功)



**○北消防署で写生大会**

十月五日、学校法人松ヶ谷学園ふたば幼稚園(白塚町)の園児四十一人が、北消防署の見学と写生大会に訪れました。

園児たちは、興味津々な顔付きで消防署の仕事や消防車、救急車等の見学をしました。また、火遊びの危険性などを説明すると、大きな声で「はい」と返事があり頼もしく感じられました。

その後の消防車両の写生大会では、消防車や救急車を画用紙いっぱいにかいていました。(小河仁孝)



→消防車両の説明を受ける園児たち



←写生大会を行う園児たち

**○消防車両運転操作研修を実施**

中消防署は、十月二十一日と二十八日の二日間、津ドライブ

ングスクール教習場(博多町)で、採用五年未満の職員を対象に消防車両運転操作研修を行いました。

研修では、長年機関員として消防車両を運転してきた職員が、大型車両特有の死角や運転のポイントを説明し、S字やクランクといった狭隘な道を的確に通過できるよう指導しました。参加した十六人の職員は、緊張した面持ちでより安全で確実に災害現場に出動できるよう真剣に取り組んでいました。(久保田芳史)



↑消防車両での走行訓練の様子

## ○三重県内の消防が

### 警防技術を披露

十月七日、三重県内の消防機関が中隊活動における技術を交換し、連携強化及び警防技術の向上を図ることを目的に、三重県消防学校で警防技術交換会が開催され、津市消防からは中田隆一指揮隊長以下十人が参加しました。津市消防は、中勢・伊賀ブロックの中隊として参加し、火災防御訓練の部に出場しました。

この訓練は、より実践に即したブラインド方式（訓練想定を最小限にし、随時想定を付与していく方法）で行われ、刻一刻と変わっていく現場の状況に、中田指揮隊長の的確な指示の下、実践さながら



↑火災防御訓練で要救助者を救出する隊員

らの緊張感を持って訓練に取り組みました。

参加した職員は「今後も更に近隣地域の消防機関と連携を強化したい。」と述べていました。（西尾朋也）



↑火災防御訓練で要救助者を救出する隊員

## ぶ ○お母さんが心肺蘇生法を学

十一月十九日、中消防署は橋南市民センター（阿漕町津興）で育児サークル「ホワイトキャンパス」所属の母親十一人を対象に、小児・乳児に対する心肺蘇生法、



AEDの取扱い及び気道異物の除去方法について講習会を開催しました。

お母さんたちは終始熱心に実技に取組み、いざという時にどうすればよいかを学びました。

講習会の最後に、講師が「子供はまず事故の予防が大事です。しかし、万が一のときには、この講習会で学んだことを生かしてください。」と話すと、参加者は「十分に気をつけて育児をしています。」と述べていました。（宮坂千秋）



↑終始熱心に講習を受ける母親たち

## ○チャリティーゴルフ大会

### で住宅用火災警報器を寄贈

十一月十七日、伊勢中川カントリークラブ（一志町井生）

で津市消防団の有志によるチャリティーゴルフが開催され、その寄付金の一部から住宅用火災警報器二百台が津市防火協会に寄贈されました。

住宅用火災警報器は、消防法により設置が義務付けられているところですが、諸般の事由から未設置の御家庭がありません。津市防火協会は、火災予防のため津市消防と連携して住宅用火災警報器の普及啓発を推進しており、この度寄贈された住宅用火災警報器を、高齢者等を対象に有効活用することとしています。（田村公一）



↑目録を受け取る津市防火協会の松田有平理事

# 住宅用火災警報器を設置しましょう。

## ○津市内における住宅用火災警報器の設置状況

津市消防では、津市内における住宅用火災警報器の設置状況を把握するため、平成二十一年度は一般住宅に対して、また平成二十二年度はマンション等の共同住宅に対してそれぞれ実態調査を実施しました。その結果、津市内における住宅用火災警報器の推計設置率は、六十五・三％でした。

なお、全国平均の五十二％より高い設置となりましたが、アメリカでは設置率が一〇〇％に近くなるにつれ、火災による死者数も大幅に減ったとの結果が出ているため、今後も設置率一〇〇％に近づけるよう推進していきます。

アメリカにおける住宅用火災警報器の普及率と住宅火災による死者数の推移



資料 (総務省消防庁)

## ○平成二十一年度中の住宅用火災警報器の設置率の高い自治会別調査結果 (共同住宅を除く。)

### ▼設置率一〇〇％

ハーモニータウン津、羽所町第3、常磐乙部元町北、贅崎町、北河路町、南さくらが丘、高佐、穴倉、高野団地1、立町区、西町区、本町区、宮町区、東町区、瀬戸区、北家城区、藤区、二俣区、真見区、城立区、小杉区、大原区、福田山区、中ノ村区、持経東、持経中、持経北、寺脇、寺垣内、杉平東、杉平西、上垣内、下垣内東、逢坂大妻

### ▼九〇％～一〇〇％未満

虹が丘団地5、中佐田、南浜町、中町、桜茶屋東、奥佐田・永田出、中村町、蔵町・千歳町、猿子、高野団地3、安東町(跡部)、棕本13-3、山田野北出区、奥出、上浜町1丁目南、高野団地4、若杣、高野団地7、ビオガーデン新町、港海岸、桂畑

### ▼八〇％～九〇％未満

足坂、野田1、乙部平和中、高野団地6、瑞穂、丸之内緑町南、上出、掛田、桜橋3丁目南、小森向山苑、中新町中、家所、持経西、一区、栗真町屋町志登茂、川口・南区、高野団地2、八対野5区、高野団地5、柳山港中路町、東下、西裏岩田・桜ヶ岡、井の口、桜が丘町、栄町2丁目南、山之瀬古町、越知、宮垣内

### ▼七〇％～八〇％未満

一身田志登茂第3、岡区、栄町3丁目北、丸之内緑町北、玉置町、栗真町屋町根上り、船山、新町一丁目北、上浜町3丁目北、弓之町南、榊原6、北垣内、弓屋敷、口佐田、榊原2、野口、榊原4区下、中之番町、小野区、宮崎、桜、中町、中井生、栄町4丁目、垣内、出口、虹が丘団地2、上ノ村・辻、安東町(鹿毛)、八町一丁目第2、片浜町、丸之内本町1丁目、岩脇区、山田野上出区、大野東、川口・北区、榊原3、むつみヶ丘、榊原4区上、広明町第2、中俣、中瀬、的場中河原、緑の街、神納町土手、白塚美松園、本郷西町、弓之町北、遠河、下登、上浜町1丁目北、丸之内本丸、分部町

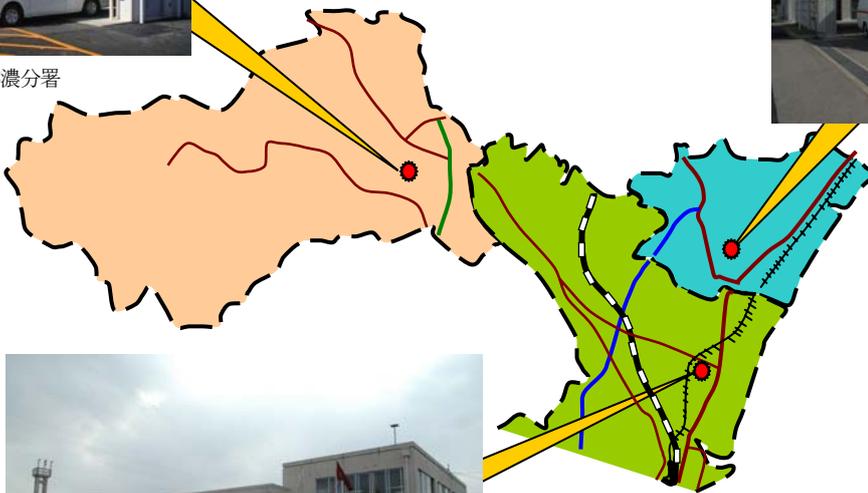
# 特集！消防署紹介 北消防署



↑芸濃分署



↑河芸分署



↑北消防署

## 北消防署



北消防署  
署長 小倉克仁

北消防署は、津市栗真中山町にあり、津市消防管内の北部を管轄し、一消防署二分署体制をとっています。

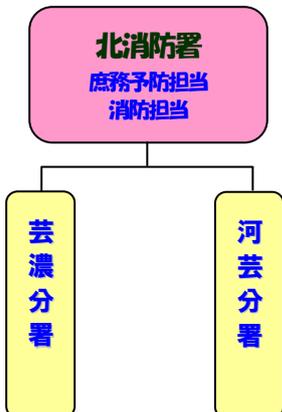
管内の特長としては、栗真、一身田地区を中心に国立大学法人三重大学、県立看護大学、市立三重短期大学、私立高田短期大学などの文教施設や国立医療法人三重大学付属病院、独立行政法人国立病院機構三重病院などの医療福祉施設が多くあり、高田本山専修寺を中心とした歴史的な建造物や古い町並みも残っています。

また、北西部の大里・河芸地区には中勢バイパスが走り、沿線には産業振興の拠点を旨とする公的工業団地である中勢北部サイエンスシティがあり、多くの企業が進出しています。一方、西部山間部には経が峰や錫杖ヶ岳といった名峰が、東部海岸地区は松林やマリーナといった、

とてもきれいな景色が広がっています。

この様な地域の多様性から各種災害発生時の危険性が高くなっており、山の事故から海の事故までさまざまな対応が求められています。

現在、北消防署には署長以下六十五人が勤務し、活動の基本として、「職員同士のつながり」「地域住民とのつながり」等あらゆる「つながり（結びつき）」を大切にし、「市民の安全・安心」を守るために士気の高揚、技術の向上に努めています。



○消防標語で最優秀賞

九月二十六日、子供たちに防災について、知ってもらおうと、三重県と尾鷲市は県立熊野古道センター（尾鷲市）で「みえ風水害対策の日防災フェア」を開催しました。

その中で、学校や家庭、職場などの風水害や地震に対する防災意識の高揚を図ることを目的として募集した「みえ防災標語」の授賞式があり、久居消防署の石原幸広消防士が、一般（高校生以上）の部で最優秀賞を受賞しました。平成二十二年度「みえ防災標語」一般（高校生以上）の部最優秀賞

「大地震 備えて護る」

家族の笑顔



↑野呂知事から表彰状を受け取る石原消防士

津市消防出初め式の御案内

○平成二十三年一月十六日（日）

▽第一部

◆式典（津リージョンプラザ 3階お城ホール） 九時～

▽第二部

◆木遣り（津リージョンプラザ南側道路） 十時三十分～

◆分列行進（津リージョンプラザ南側道路） 十時五十五分～

◆一斉放水（お城公園西側お堀） 十一時二十分～

カメラアングル



→十一月十日、独立行政法人国立病院機構三重病院で行われた訓練の様子



←十月八日、久居消防署に写生大会のため訪れた成美小学校の児童

☆ 主な行事予定 ☆

◆十二月十五日（水）～一月十五日（土）  
年末年始消防特別警戒（津市内全域）

◆十二月十八日（土）  
津市消防音楽隊三十五周年記念演奏会（津リージョンプラザ）

◆十二月二十七日（月）  
津市消防団出陣式（メッセウイングみえ）

◆一月十六日（日）  
津市消防出初め式（津リージョンプラザ）

◆一月二十六日（水）  
文化財防火デー

○編集後記

近年のエコブームや健康志向の高まりから自転車に乗る人が増えてきています。私も天気の良い日や近くに出かけるときなどは、自転車をよく使います。それと同時に自転車による交通事故が全国的に多発しています。自転車は、手軽で誰でも乗れる便利な乗り物であるため、車のような危険な乗り物である認識が薄いのも事実です。

自転車は、軽車両であり道路交通法の規制を受けます。携帯電話でメールを打ちながらやヘッドフォンで音楽を聴きながら自転車で乗っている人を最近多く見掛けますが、これは立派な道路交通法違反です。自転車もひとたび歩行者とぶつかれば、加害者となるのです。自転車による交通事故を減らすためにも交通法規とマナーを守りましょう。（高橋直通）

ご家庭に住宅火災警報器を設置しましょう！  
消防法の一部改正及び火災予防条例の改正により、平成20年6月から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



～平成22年11月末までの災害～  
火災 98件 (101件)  
救急 11,089件 (10,469件)  
救助 108件 (150件)  
( )内は前年同期